











ROASSO KUMAMOTO

ロアッソ熊本 2019 活動報告

ROASSO KUMAMOTO 2019 ACTIVITY REPORT

ごあいさつ

2019シーズン、応援してくださった皆様へ

謹啓　皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より、弊クラブの活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2019シーズンは、クラブスローガン「我心勝鍛」のもと、一年でのJ2リーグ復帰を必須としてチーム・クラブが一丸となって戦ってまいりました。

チームは、スタートダッシュにつまずきながらも、今シーズン取り組んだ「ボールをつないで主導権を握るアクションサッカースタイル」が徐々に機能し始め、クラブ初の6連勝もあり、リーグ中盤にはトップに立つなどこれまでにない戦績を上げ、順調に成長しているかに見えました。しかしながら、後半に入ると他チームのスカウティングも強まり、中盤までの勢いに陰りが見え始め、大事な試合を落とすなど皆様の期待を裏切る結果となりました。最終的に16勝9分9敗、勝点57、第5位の戦績で、悲願であったJ2リーグ昇格を逸してしまい、皆様との約束を果たすことができなかったことに対して大変申し訳なく、深くお詫び申し上げます。

2020シーズンもJ3リーグで戦うことになりましたが、監督、スタッフ、選手を大幅に見直し、新監督大木武体制のもと、今まで培ってきたアクションサッカーを更に進化させ、メンタル、技術、戦略性も向上した強いチームを作り、再度J2リーグ復帰を目指す所存です。

また、ホームタウン活動においては、「火の国もりあげタイ！」プロジェクトを中心に「日本一地域に根差したクラブ」を目指して活動を続け、地震被害の影響を受けている地域や県内の子どもたちを試合に招待したほか、県下各地域でサッカー教室を開催するなど積極的な地域貢献活動を展開してまいりました。

さて、2020シーズンのクラブを取り巻く環境は、2019シーズンに比べるべくもなく厳しくなります。しかしながら私たちの存在意義であり、決してぶれることのない使命でもあるクラブ理念「県民に元気を」「子ども達に夢を」「熊本に活力を」を改めて強く意識し、この難局を是が非でも乗り越え、県民チームとして更に精進し活動してまいる所存です。

スポンサー様、株主様をはじめ、皆様におかれましてもロアッソ熊本を温かく見守っていただき、今後とも何とぞ変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹白

株式会社　アスリートクラブ熊本
代表取締役社長　永田　求



概要

会社名　株式会社　アスリートクラブ熊本

(2019年12月1日現在)

■設　立／平成16年12月21日　■資本金／ 3億4,500万円
■所在地／〒862-0954 熊本市中央区神水2丁目10-10　Tel:096-283-1200　Fax:096-283-1300

役員

(2019年12月1日現在)

代表取締役社長	永田　求
専務取締役	藏原　信博
取締役ゼネラルマネージャー	織田　秀和
取締役(非常勤)	池永　成正(アデル･カーズ株式会社　代表取締役社長)
取締役(非常勤)	小杉　康之(株式会社コスギ不動産　代表取締役会長)
取締役(非常勤)	坂本　正(ロアッソ熊本持株会　理事長)
取締役(非常勤)	早川　典宏(合資会社ハヤカワ運動具店　代表)
取締役(非常勤)	平井　謙丞(株式会社ヒライ　専務取締役)
取締役(非常勤)	井上誠一郎(株式会社熊本県民テレビ　顧問)
取締役(非常勤)	田代　桂一(医療法人木星会山鹿温泉リハビリテーション病院　理事長)
監査役(非常勤)	宮田　房之(宮田総合法律事務所　弁護士)
会計参与(非常勤)	西木　寛(西木会計事務所　会計士)
顧　問	前田　浩文(株式会社アスリートクラブ熊本　元代表取締役)
相 談 役	田川　憲生(くまもと新世紀株式会社(ホテル日航熊本)　代表取締役会長)
相 談 役	前川　隆道(熊本県サッカー協会　会長)
相 談 役	北岡　長生(熊本県サッカー協会　副会長)
司法書士	藤山　直秀(藤山司法書士事務所)
弁 護 士	森枝　大輔(宮田総合法律事務所)

チーム名　ロアッソ熊本

熊本を象徴する「阿蘇山」や「火の国熊本」から、熊本の燃える情熱を表す赤のイタリア語で「アッソ」＝「エース」「唯一の」を含んだ造語で、Jリーグでもエースとなりうるナンバー 1のチームを目指す決意をチーム名に込めました。

チームカラー　赤

熊本の燃える情熱を表すとともに、勝利への意欲を表しています。

ホームスタジアム　えがお健康スタジアム

最新の設備を備え、国際的規模のスポーツイベントにも対応する第1種公認陸上競技場。平成29年2月1日より株式会社えがお様がネーミングライツを取得され、愛称が「えがお健康スタジアム」となりました。
観客席数：約30,000席　身障者席：150席

クラブ理念　「県民に元気を」「子ども達に夢を」「熊本に活力を」

地域に根ざしたクラブとして、地域に生活する人々と共に発展し、子ども達に夢と希望を、地域に誇りと感動を覚えてもらう事に努め、クラブを軸としたコミュニティを築き、世界に開かれた豊かなスポーツ文化の創造に貢献します。

活動方針　日本一地域に根ざしたクラブづくり

「勝負へのこだわり」による夢や希望を！！
「日本一のホームタウン活動」による熊本へ愛を！！

公式サイト

ホームページ　http://roasso - k.com　Twitter　@roassoofficial　Facebook　@roassokumamoto
Instagram　roassokumamoto_official

2019シーズン活動方針

クラブ理念

県民に元気を　子ども達に夢を　熊本に活力を





ロアッソ熊本のすべての活動は、理念に基づいております。

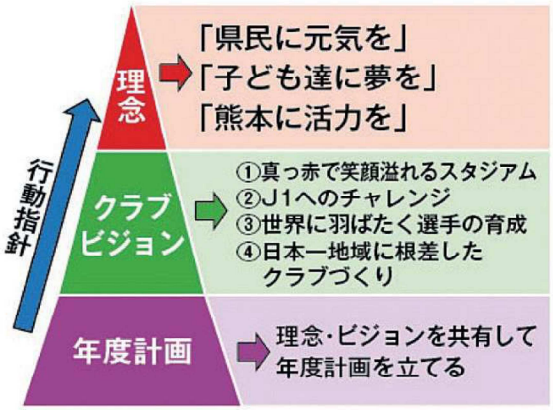
2019ロアッソ熊本クラブスローガン



我心勝鍛（がしんしょうたん）
昨年の悔しい思いを忘れず、１年でのJ2復帰を成し遂げるために、苦労を惜しまず、努力を重ねる。我々の心も鍛え、勝利を掴み取るために鍛錬に励むという思いを込めています。
「臥薪嘗胆」に由来しています。

クラブビジョン

①真っ赤で笑顔溢れるスタジアム
②J1へのチャレンジ
③世界に羽ばたく選手の育成
④日本一地域に根差したクラブづくり



ロアッソ熊本クラブスピリット

絆　180万馬力

ロアッソ熊本ではこれまでクラブスローガンとしても使用してきました「絆　180万馬力」をクラブスピリッツと致しました。
ロアッソ熊本はこれまでも、そしてこれからも、ファン・サポーターの皆様、株主・スポンサーの皆様、熊本県民、ロアッソ熊本に関わる全ての皆様と絆を結び、歩んでいきます。

トップチーム・チーム成績



2019明治安田生命J3リーグ順位表

順位	チーム名	勝点	試合	勝	引	敗	得点	失点	得失点差
1	ギラヴァンツ北九州	66	34	19	9	6	51	27	+24
2	ザスパクサツ群馬	63	34	18	9	7	59	34	+25
3	藤枝 MYFC	63	34	18	9	7	42	31	+11
4	カターレ富山	58	34	16	10	8	54	31	+23
5	ロアッソ熊本	57	34	16	9	9	45	39	+6
6	セレッソ大阪Ｕ－23	52	34	16	4	14	49	56	−7
7	ガイナーレ鳥取	50	34	14	8	12	49	59	−10
8	ブラウブリッツ秋田	49	34	13	10	11	45	35	+10
9	AC 長野パルセイロ	49	34	13	10	11	35	34	+1
10	ヴァンラーレ八戸	48	34	14	6	14	49	42	+7
11	福島ユナイテッド FC	43	34	13	4	17	45	53	−8
12	アスルクラロ沼津	39	34	11	6	17	35	43	−8
13	Y.S.C.C. 横浜	39	34	12	3	19	53	65	−12
14	カマタマーレ讃岐	39	34	10	9	15	33	49	−16
15	SC 相模原	38	34	10	8	16	36	45	−9
16	FC 東京Ｕ－23	36	34	9	9	16	43	52	−9
17	ガンバ大阪Ｕ－23	35	34	9	8	17	54	55	−1
18	いわてグルージャ盛岡	26	34	7	5	22	36	63	−27

J２自動昇格枠

個人記録

（リーグ戦）

最多得点
11ゴール
FW 13 北村 知也



最多アシスト
5アシスト
MF 14 中原　輝



最多アシスト
5アシスト
DF 24 高瀬 優孝



最多出場時間
3,060分
GK 22 山本 海人



2019シーズン その他成績

第23回熊本県サッカー選手権大会
（天皇杯熊本県代表決定戦）
決　勝 VS 東海大熊本 3対0

第99回天皇杯
全日本サッカー選手権大会
1回戦 VS ヴェルスパ大分 2対0
2回戦 VS サガン鳥栖
0対0　（PK　4対5）

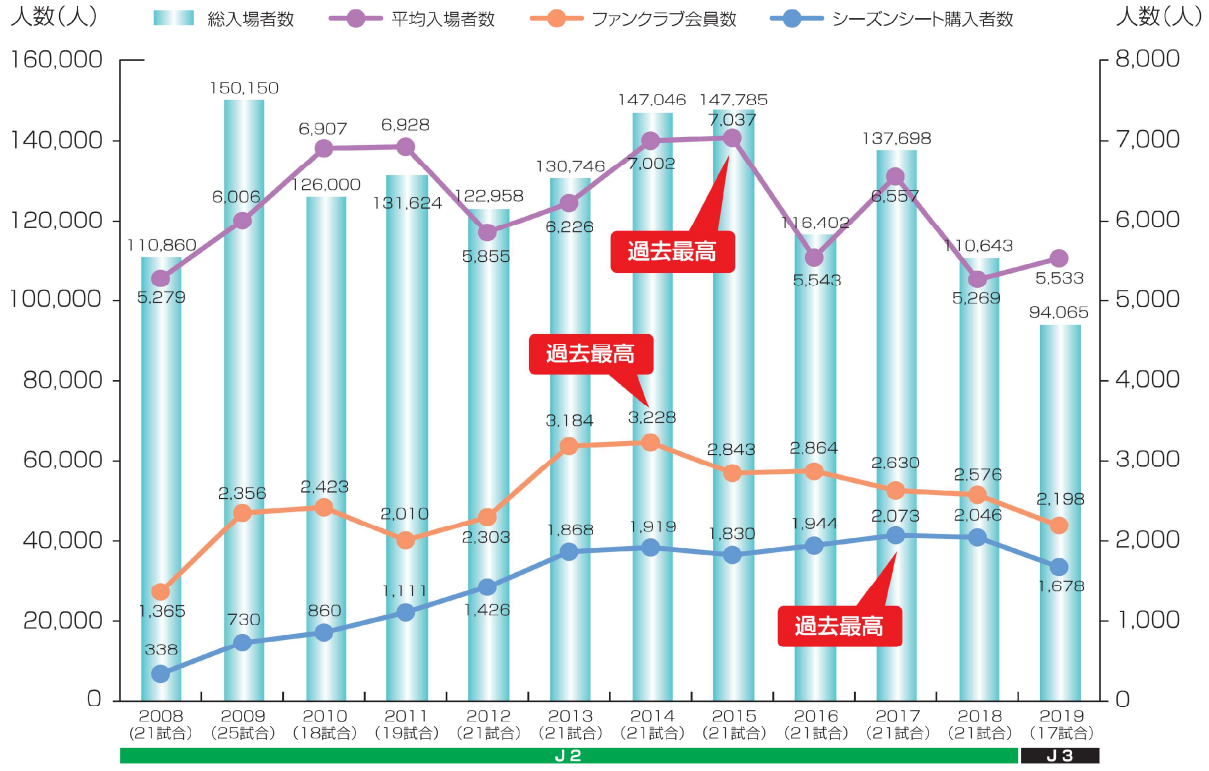
2019入場者数･シーズンシート･ファンクラブ

2019シーズンホームゲーム入場者数

開催日	会場	対戦チーム	入場者数
3/10(日)	えがおS	ＡＣ長野パルセイロ	6,478人
3/24(日)	えがおS	カマタマーレ讃岐	4,340人
4/7(日)	えがおS	ＳＣ相模原	8,226人
5/5(日･祝)	えがおS	ヴァンラーレ八戸	5,023人
5/19(日)	えがおS	ガイナーレ鳥取	3,384人
6/9(日)	えがおS	セレッソ大阪Ｕ－23	4,019人
6/15(土)	えがおS	ＦＣ東京Ｕ－23	4,161人
6/30(日)	えがおS	ザスパクサツ群馬	3,085人
7/14(日)	えがおS	カターレ富山	5,093人
8/4(日)	えがおS	ブラウブリッツ秋田	3,914人

開催日	会場	対戦チーム	入場者数
8/10(土)	えがおS	Ｙ．Ｓ．Ｃ．Ｃ．横浜	4,347人
9/7(土)	えがおS	ガンバ大阪Ｕ－23	16,027人
10/20(日)	えがおS	藤枝ＭＹＦＣ	6,621人
10/27(日)	えがおS	アスルクラロ沼津	4,501人
11/10(日)	水前寺	ギラヴァンツ北九州	6,404人
11/17(日)	えがおS	いわてグルージャ盛岡	3,720人
12/1(日)	えがおS	福島ユナイテッドFC	4,722人
入場者数合計			94,065人
1試合平均入場者数			5,533人
J3平均入場者数			2,396人

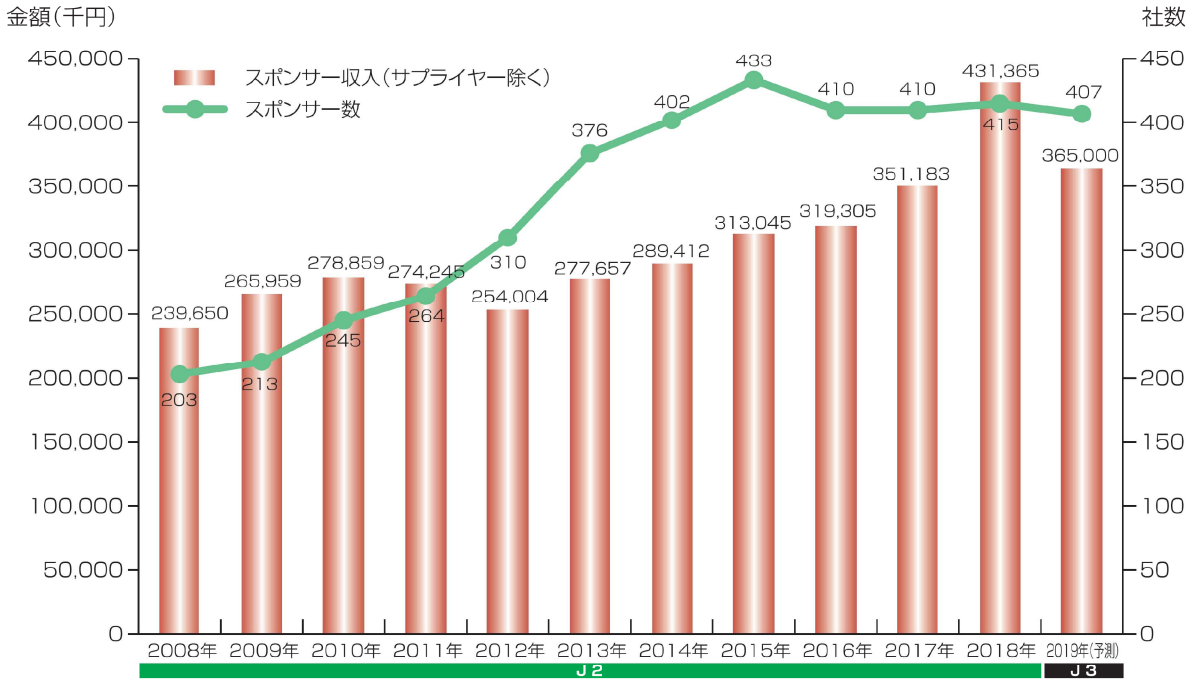
ホームゲーム入場者数、ファンクラブ会員数およびシーズンシート購入者数の推移



事業収益等推移

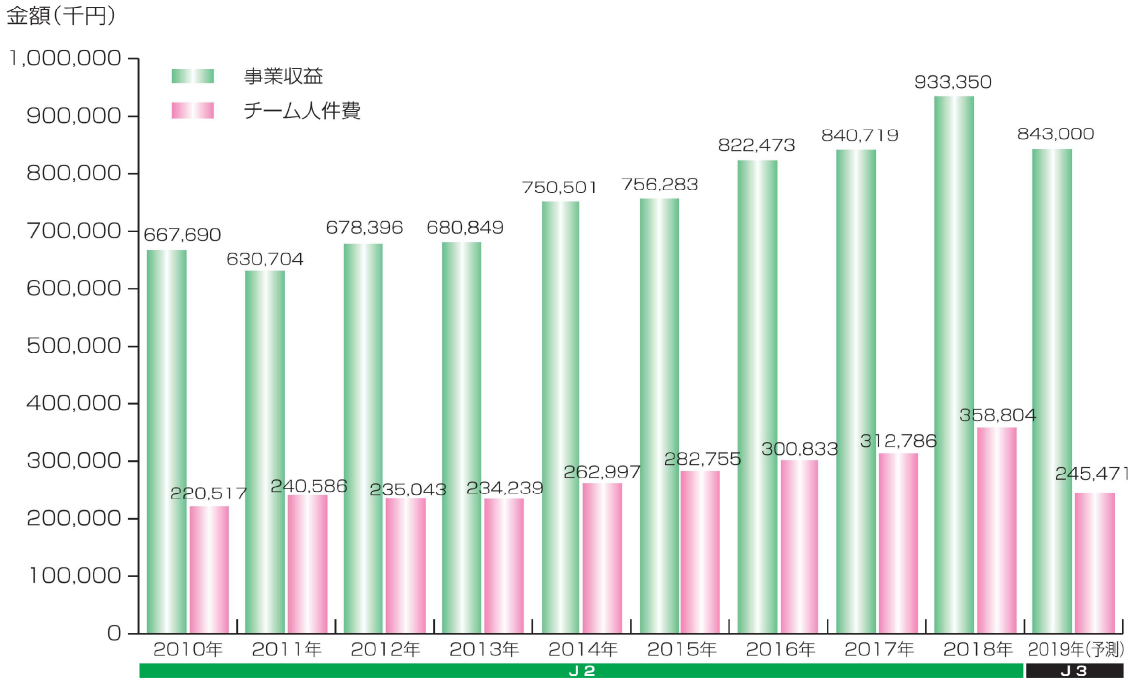
スポンサー収入とスポンサー数の推移

※令和元年11月末日現在



(参考) 2018年度J2平均874,800千円 2018年度J3平均260,280千円

事業収益及びチーム人件費の推移



(参考) 2018年度J2事業収益平均1,664,280千円 2018年度J2チーム人件費平均735,480千円
2018年度J3事業収益平均 479,520千円 2018年度J3チーム人件費平均178,200千円

アカデミー（育成）

ロアッソプロジェクト

熊本県の将来の発展に貢献するべく、県民に愛され、元気を生みだしてもらう存在になることを理念におき、人間的にもフットボー ラーとしても真にプロフェッショナルと呼ばれる選手の育成を実現し、トップチーム及びインターナショナルで活躍できる選手を輩出すること、青少年期において、広い視野で物事を捉えて判断できる「人間力」を育てることを目的として今後も活動してまいります。

2020シーズン、ロアッソ熊本ユースから3選手がトップ昇格

同年 3 選手のトップ昇格は史上最多となります。



小島 圭巽（こじま けいたつ） 選手

【生年月日】2001 年 6 月 21 日
【ポジション】MF
【身長／体重】170㎝／ 65kg
【出身】熊本県熊本市南区
【サッカー歴】ブレイズ熊本ジュニア～ブレイズ熊本～ロアッソ熊本ユース



田尻 康晴（たじり こうせい） 選手

【生年月日】2001 年 6 月 27 日
【ポジション】MF
【身長／体重】176㎝／ 62kg
【出身】熊本県熊本市西区
【サッカー歴】アスフィーダ熊本ジュニア～ブレイズ熊本～ロアッソ熊本ユース



樋口 叶（ひぐち かける） 選手

【生年月日】2001 年 4 月 23 日
【ポジション】FW
【身長／体重】166㎝／ 58kg
【出身】熊本県球磨郡山江村
【サッカー歴】人吉フットボールクラブ～ロアッソ熊本ジュニアユース～ロアッソ熊本ユース

第34回日本クラブユースサッカー選手権（U-15）大会

ロアッソ熊本ジュニアユースが九州代表として、第34回日本クラブユースサッカー選手権（U-15）大会に3年ぶりに出場。予選リーグ敗退となりましたが全国大会で奮闘しました。



予選 F グループ
第1試合　0-3　VS 横浜 F・マリノスジュニアユース（神奈川県）
第2試合　0-2　VS グランセナ新潟（新潟県）
第3試合　1-2　VS ディアブロッサ高田（奈良県）

高円宮杯JFA第31回全日本U-15サッカー選手権大会

ロアッソ熊本ジュニアユースは九州予選を勝ち抜き、高円宮杯JFA第31回全日本U-15サッカー選手権大会に出場しました。



九州予選結果
2回戦　0-0（PK 5-4）　VS 大分トリニータ宇佐
3回戦　4-0　VS 大分トリニータ

第29回九州クラブユースU-13サッカー大会

ロアッソ熊本ジュニアユースは第14回熊本県クラブユースU-13サッカー大会にて優勝し、九州大会に出場しました。



九州予選結果
準決勝　2-0 vs 人吉 FA
決　勝　1-0 vs ソレッソ熊本

第45回 熊日学童オリンピックサッカー競技大会

2018年惜しくも準優勝で終わった、熊日学童オリンピックサッカー競技大会にて初優勝しました。また無失点で大会を終えました。



準決勝 vs スポーツの森・大津 FC　3-0
決　勝 vs ソレッソ熊本 U-12V　4-0

JFA 第43回全日本U-12サッカー選手権大会 熊本県大会

ロアッソ熊本ジュニアは熊本県大会で優勝し、熊本県代表としてJFA第43回 全日本U-12サッカー選手権大会へ出場しました。



準決勝 vs アルバランシア熊本 FC　2-1
決　勝 vs ソレッソ熊本 U-12V　0-0
（延長 1-0）

ユース・ジュニアユース・ジュニア

ユース（高校生）

所属選手 41名



主な大会成績

■高円宮杯 JFA U-18サッカーリーグプリンスリーグ九州2019　6位
■高円宮杯 JFA U-18サッカーリーグ2019熊本2部　優勝
■KYFA第30回九州クラブユース（U-18）サッカー選手権大会
■全国大会代表決定戦　0-1 vs 大分トリニータU-18
■第27回Jリーグユース選手権大会　1回戦 0-1 vs サガン鳥栖U-18

ジュニアユース（中学生）

所属選手 61名 | U-15 20名 | U-14 20名 | U-13 21名


U15（U14,2名含む）


U-14


U-13

主な大会成績

■U-15　高円宮杯 JFA U-15サッカーリーグ2019九州　10チーム中 5位
　　第34回日本クラブユースサッカー選手権（U-15）大会出場
　　高円宮杯JFA第31回全日本U-15サッカー選手権大会出場
■U-14　2019Jリーグサザンクロスリーグ　10チーム中4位
■U-13　高円宮杯 JFA U-13サッカーリーグ2019九州　10チーム中 6位
　　2019年度 熊本県クラブユースU-13サッカー選手権大会　優勝

ジュニア（小学生）

所属選手 30名 | U-12 18名 | U-10 12名


U-12


U-10

主な大会成績

■第45回熊日学童オリンピックサッカー競技大会　優勝
■EXILE CUP 2019 九州大会1　優勝
■第9回スーパースポーツゼビオカップ KFA 熊本県U-10少年サッカー大会 あパート　準優勝
■JFA 第43回全日本U-12サッカー選手権大会 熊本県大会　優勝
■2019年度ナショナルトレセン九州　1名選出

ロアッソ熊本の地域づくり、人づくりへの関わり

2019年4月、私達は「ロアッソ熊本ジュニアユース阿蘇」を設立しました。
少子化や運動環境の変化に伴い表面化した「子ども達の競技継続・環境の喪失」「地域で育った優秀で意欲のある子ども達の地域外への流出」「遠隔地でのクラブ活動による経済的・肉体的負担」など、地域の社会課題を解決する手段として設立したチームです。

ジュニアユース阿蘇の選手たちは、生まれ育った地で、地域の方々に見守られ、はつらつとサッカーに取り組んでいます。日々のトレーニングの成果はチーム成績に反映され、活動初年度ながら所属するリーグでは年間を通して2位を確保し、上位リーグへの昇格参入戦に出場を果たしています。
このチームには、「子ども達のサッカー活動の受け皿になる」こと以外にも役割があります。
それはスポーツを通じた地域づくり、人づくりを行うことです。



ロアッソ熊本ジュニアユース阿蘇結団式


公式戦の様子


ロアッソカップ集合写真


ロアッソカップ試合の様子

ジュニアユース阿蘇の担当コーチは阿蘇地域の幼稚園での巡回指導や小学生対象のサッカー教室、地元サッカーチームとの連携指導を通し、スポーツ・サッカーの普及に努めています。またスポーツツーリズムと子ども達の競技交流を目指したサッカー大会を開催しています。大会運営にはジュニアユース阿蘇の選手たちも参加し、熊本地震により落ち込んだ観光産業の復興にも地域とともに取り組みました。高森町や観光協会とともに2回開催したこのサッカー大会では、県内外から約2,100名の方々に来場頂き、約120名の宿泊もありました。
このように、阿蘇地域での活動には自治体、地域の方々にも協力を仰ぎ実施しています。ロアッソが中心となり地域と連携を取り、一体となって活動することでその地域に新しい文化と、人と人の繋がりを生み出す事で地域の活性化に寄与することを常に意識し活動を行っています。

2020年4月、阿蘇と同じく子ども達のサッカー競技機会が減少している人吉球磨地域で私達は「ロアッソ熊本ジュニアユース人吉」を立ち上げます。子ども達の受け皿として地元のサッカー協会を中心とした方々が「人吉FAジュニアユース」を立ち上げ、すでにロアッソ熊本は指導支援のためにコーチを派遣しており、このチームが母体となります。阿蘇と同じように、地域づくりや人づくりに繋がるチームになることを目指します。


人吉FAジュニアユース

地域の子ども達にスポーツ・サッカーの楽しさを伝えること、地域の未来を担う人材を育成すること、地域の魅力を県内外に広く伝えることをロアッソ熊本の役割と考えています。
地域の方々とロアッソ熊本とで、スポーツ・サッカーを愛し、地元を愛する子ども達を育て、将来その子達がまた次の世代を育て地域を元気づけていく。10年後、阿蘇や人吉、県内各地でそういう場面が見られる日が来ることを目標に活動を進めていきます。

サッカー普及事業

サッカースクール·おとなのサッカー教室
キッズキャラバン 幼稚園·保育園巡回指導　サッカー教室

サッカーを通じて「遊ぶ·学ぶ·創る」のテーマ（スクール理念）を身につけさせる環境づくりを目的としています。またJリーグチームにしかできないスクール指導と環境から、夢を持つことの大切さを伝えていくことを心掛けています。未来を担う子ども達にサッカーの持つ楽しさを知ってもらいます。その中で、サッカーのみならず身体を動かすことを通じて スポーツへの愛着を芽生えさせ、心身ともに健全な発達教育の促進を目指し、ロアッソ熊本の目的でもある「生涯スポーツの普及」に今後も努めていきます。

サッカースクール
おとなのサッカー教室　実施実績 203人

2018年4月よりサッカースクール部門ではブレイズ熊本、アルバランシア熊本、ソレッソ熊本、アスフィーダ熊本と業務提携を致しました。4クラブと連携し、これまでロアッソ熊本が熊本市中央区と東区を中心に行ってきたサッカースクールの範囲を広げて10会場11コースで展開しました。


サッカースクール


サッカースクール


大人のサッカー教室

キッズキャラバン　実施実績 47園（2019年2月～11月）

普及コーチが県内各地の幼稚園·保育園を訪問して、行うスポーツ指導プログラムです。全員が楽しめるプログラムで、サッカーをはじめ、様々な活動を通して、身体を動かすことが大好き、元気でたくましい子どもを育てます。


キッズキャラバン


キッズキャラバン



キッズキャラバン

サッカー教室　実施実績 37回（2019年2月～11月）

県内各地で開催するサッカー教室に普及コーチや選手が参加しています。参加者のサッカー経験の有無を問わず、誰でも楽しめるサッカー教室を行いました。


ホームゲーム前座サッカー教室



熊本市サッカー教室


熊本法人会サッカー教室

ホームタウン活動（地域貢献活動）

ロアッソ熊本は、「県民に元気を」「子ども達に夢を」「熊本に活力を」というクラブ理念を掲げ、「日本一地域に根差したクラブづくり」を目指し、県内各地においてホームタウン活動(地域貢献活動)を実施しました。

実施実績　参加・実施回数 120回 (2019年1月～11月)

県民交流事業

県内各地で開催される地域イベントなどに、選手・ロアッソくん・マッスルアンバサダー スガッシュ・クラブスタッフが参加しております。県民の皆様と交流を図りながら、クラブ理念「県民に元気を」「熊本に活力を」の体現を目指して活動しております。


2月16日熊本城マラソン復興チャレンジファンラン参加


3月21日eスポーツ選手権熊本県予選会 告知イベントに参加


7月13日参議院選挙街頭啓発イベント参加



8月7日健軍駐屯地納涼盆踊りに参加

学校訪問事業

県内各地の学校に、選手・アカデミーコーチ・クラブスタッフなどが訪問しております。夢講話・職業講話・サッカー教室などを開催して、交流を図りながら、クラブ理念「子どもたちに夢を」の体現を目指して活動しております。


2月23日御所浦中学校サッカー教室


6月8日小川中学校職業講話


10月3日大津東小学校職業講話


10月17日帯山西小学校夢講話

地球温暖化対策への活動

環境省が推進する温暖化に対する国民運動「COOL CHOICE」・熊本県と連携し「くまもとのBDF」普及啓発事業、この2つの活動にロアッソ熊本は賛同し、ロアッソ熊本ホームゲームにおける普及啓発活動、自治体・地域・団体・企業等との共同活動を行いました。



4月2日ノーマイカー通勤デー・パレード


11月24日住まいの省エネフェア


ホームゲームでの「くまもとのBDF」普及啓発活動


サッカー教室での「COOL CHOICE」普及啓発活動

火の国もりあげタイ！

ロアッソ熊本では、活動方針である「日本一地域に根ざしたクラブづくり」の具体的な取り組みの一環として、『ロアッソ熊本“火の国もりあげタイ！”』プロジェクトを2014年より実施しています。
このプロジェクトは、ロアッソ熊本の選手達が行政や地域住民の皆様との交流を図りながら、地域の「まちづくり」や「まちおこし」の応援を行い、県民の皆様と共に熊本を盛り上げていくことを目的とした活動です。
毎年、ロアッソ熊本所属の各選手を『ロアッソ熊本“火の国もりあげタイ！”』プロジェクト実施自治体担当選手として任命し、1月～12月までの任期中に様々な形で「地域の魅力」を発信していきます。

【2014シーズン】八代市、山鹿市、合志市、長洲町、高森町、益城町、甲佐町、山都町、相良村、苓北町
【2015シーズン】熊本市西区、玉名市、宇城市、水俣市、阿蘇市、人吉市、御船町、大津町、南関町、五木村
【2016、2017シーズン】※2017シーズンは熊本地震の影響により実施できなかった2016シーズンと同じ市区町村で実施。
熊本市北区、上天草市、和水町、産山村、嘉島町、多良木町
【2018シーズン】熊本市南区、菊池市、南阿蘇村
【2019シーズン】熊本市東区、宇土市、小国町、西原村、氷川町


熊本市東区表敬訪問


動植物園交流会


熊本市東区タウンデイご挨拶


ホームゲームにてPR映像の放映


宇土市表敬訪問


宇土市民交流


宇土マリーナ訪問


宇土マリーナ訪問


小国町表敬訪問


鍋ケ滝訪問


小国町タウンデイご挨拶


小国町場内一周


西原村表敬訪問


のぼりの贈呈


学童訪問


西原村タウンデイご挨拶


氷川町表敬訪問


道の駅交流会


ホームゲームにて物産展の開催


特産品の贈呈

復興支援活動

ロアッソ熊本では、2016年4月「平成28年熊本地震」直後から、継続的に復興支援活動を行っております。また今年発生しました「台風15号・19号」復興支援活動も行いました。



4月7日熊本地震復興支援サッカー教室



4月7日熊本地震復興支援マッブ開催



4月7日熊本地震復興支援チャリティ握手会



5月5日ホームゲーム仮設団地招待事業チラシ配布



10月20日ホームゲーム「台風15・19号」義援金募金活動



10月27日ホームゲーム「台風15・19号」義援金募金活動

チーム沿革

2004年
9月 「熊本にJリーグチームを」県民運動推進本部設立
12月 熊本の総合的なスポーツクラブとして地域密着のコミュニティー創りの発展に寄与することを目的に、㈱アスリートクラブ熊本を設立

2005年
2月 「ロッソ熊本」始動、監督に池谷友良氏招聘
4月 第33回九州サッカーリーグ参戦
9月 第9回NHK杯(天皇杯熊本県予選)優勝
10月 第33回九州サッカーリーグ優勝
第41回全国社会人サッカー選手権大会優勝
12月 第29回全国地域リーグ決勝大会3位
日本フットボールリーグ(JFL)昇格

2006年
3月 第8回 JFL参戦
8月 日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)準加盟クラブ承認(全国第1号)
9月 第10回NHK杯(天皇杯熊本県予選)優勝
10月 第86回天皇杯3回戦敗退
12月 JFL5位の成績でJリーグ参入を逃す

2007年
3月 第9回 JFL参戦
9月 第11回 NHK杯(天皇杯熊本県予選)優勝
10月 第87回天皇杯1回戦敗退
12月 JFL準優勝
12月3日 翌年よりのJリーグ参入正式決定



2008年
3月 Jリーグディヴィジョン2(J2)参入
10月 第88回天皇杯3回戦敗退
12月 12位(15チーム中)でシーズン終了

2009年
3月 J2リーグ2年目のシーズン
9月 第89回天皇杯2回戦敗退
12月 14位(18チーム中)でシーズン終了

2010年
3月 J2リーグ3年目のシーズン
10月 第90回天皇杯3回戦敗退
12月 7位(19チーム中)でシーズン終了

2011年
3月 J2リーグ4年目のシーズン
10月 第91回天皇杯2回戦敗退
12月 11位(20チーム中)でシーズン終了

2012年
3月 J2リーグ5年目のシーズン
4月 熊本県民総合運動公園内のスポーツ交流館をクラブハウスとして供用開始



11月 14位(22チーム中)でシーズン終了
12月 第92回天皇杯 ベスト16入り

2013年
3月 J2リーグ6年目のシーズン
10月 第93回天皇杯3回戦敗退
11月 19位(22チーム中)でシーズン終了

2014年
3月 J2リーグ7年目のシーズン
7月 第94回天皇杯2回戦敗退
11月 13位(22チーム中)でシーズン終了

2015年
3月 J2リーグ8年目のシーズン
10月 第95回天皇杯3回戦敗退
11月 13位(22チーム中)でシーズン終了

2016年
2月 J2リーグ9年目のシーズン
4月 熊本地震発生
5月 震災により、うまかな・よかなスタジアムが使用できないため、日立柏サッカー場(千葉)、ノエビアスタジアム神戸(兵庫)にてホームゲーム開催
6月 ベストアメニティスタジアム(佐賀)にてホームゲーム開催
7月 震災後初めて、熊本県にてホームゲーム開催



9月 第96回 天皇杯2回戦敗退
11月 16位(22チーム中)でシーズン終了

2017年
2月 Jリーグ10年目のシーズン
7月 第97回天皇杯3回戦敗退
11月 21位(22チーム中)でシーズン終了

2018年
2月 Jリーグ11年目のシーズン
5月 震災後初めて 熊本市水前寺競技場にてホームゲーム開催



6月 第98回天皇杯2回戦敗退
11月 21位(22チーム中)でシーズン終了

2019年
3月 Jリーグ12年目のシーズン
初めてのJ3リーグでの戦い
4月 第23回熊本県サッカー選手権大会(天皇杯熊本県予選)優勝
7月 第99回天皇杯2回戦敗退
9月 第33節ガンバ大阪U-23戦
J3リーグ最多入場者数記録更新16,027人



12月 5位(18チーム中)でシーズン終了



株式会社 アスリートクラブ熊本
〒862-0954 熊本市中央区神水２丁目 10-10
Tel:096-283-1200　Fax:096-283-1300